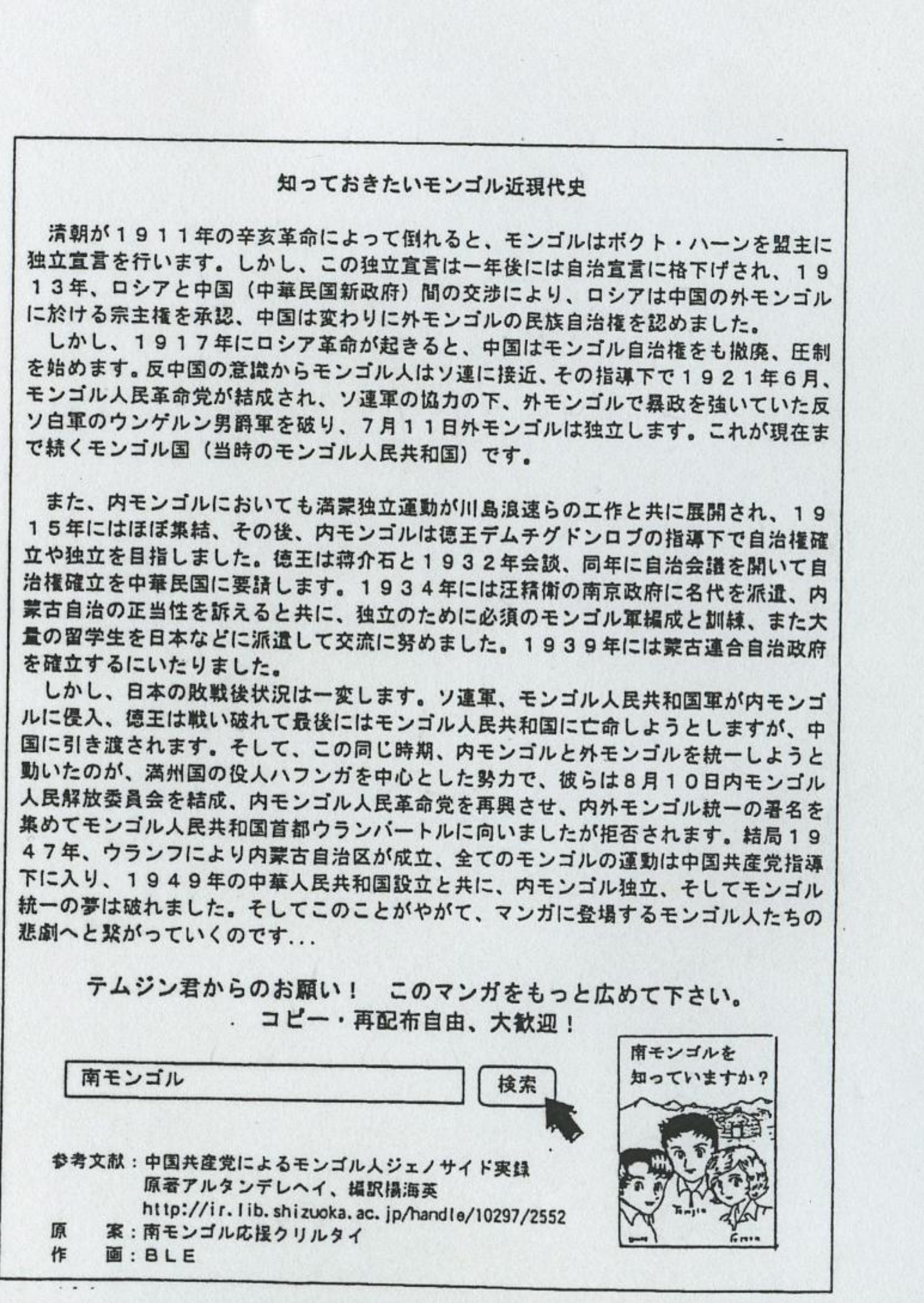
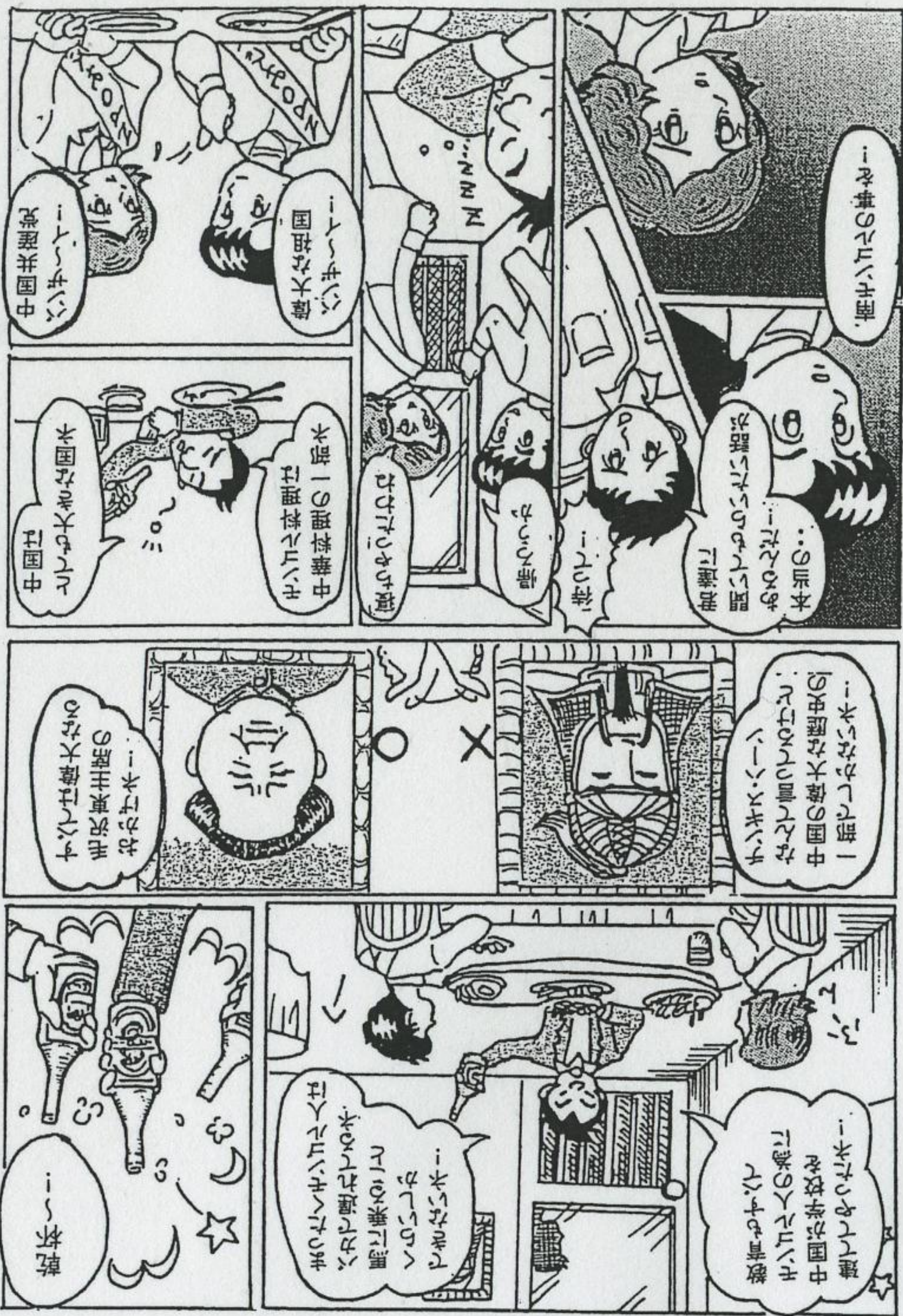




上: 炎, 中: 太陽, 下: 月

知っておきたいモンゴル近現代史

清朝が1911年の辛亥革命によって倒れると、モンゴルはボクト・ハーンを盟主に独立宣言を行います。しかし、この独立宣言は一年後には自治宣言に格下げされ、1913年、ロシアと中国（中華民国新政府）間の交渉により、ロシアは中国の外モンゴルに於ける宗主権を承認、中国は変わりに外モンゴルの民族自治権を認めました。

しかし、1917年にロシア革命が起きると、中国はモンゴル自治権をも撤廃、圧制を始めます。反中国の意図からモンゴル人はソ連に接近、その指導下で1921年6月、モンゴル人民革命党が結成され、ソ連軍の協力の下、外モンゴルで暴政を強いていた反ソ白軍のウンゲルン男爵軍を破り、7月11日外モンゴルは独立します。これが現在まで続くモンゴル国（当時のモンゴル人民共和国）です。

また、内モンゴルにおいても満蒙独立運動が川島浪速らの工作と共に展開され、1915年にはほぼ集結、その後、内モンゴルは徳王デムツェグドローブの指導下で自治権確立を目指しました。徳王は蒋介石と1932年会談、同年に自治会議を開いて自治権確立を中華民国に要請します。1934年には汪精衛の南京政府に名代を派遣、内モンゴル自治の正当性を訴えと共に、独立のために必須のモンゴル軍編成と訓練、また大量の留学生を日本などに派遣して交流に努めました。1939年には蒙古聯合自治政府を確立するにいたりました。

しかし、日本の敗戦後状況は一変します。ソ連軍、モンゴル人民共和国軍が内モンゴルに侵入、徳王は戦い破れて最後にはモンゴル人民共和国に亡命しようとするが、中国に引き渡されます。そして、この同じ時期、内モンゴルと外モンゴルを統一しようと動いたのが、満州国の役人ハフンガを中心とした勢力で、彼らは8月10日内モンゴル人民解放委員会を結成、内モンゴル人民革命党を再興させ、内外モンゴル統一の署名を集めてモンゴル人民共和国首都ウランバートルに向いましたが拒否されます。結局1947年、ウランフにより内蒙古自治区が成立、全てのモンゴルの運動は中国共産党指導下に入り、1949年の中華人民共和国設立と共に、内モンゴル独立、そしてモンゴル統一の夢は破れました。そしてこのことがやがて、マンガに登場するモンゴル人たちの悲劇へと繋がっていくのです...

テムジン君からのお願い！ このマンガをもっと広めて下さい。
コピー・再配布自由、大歓迎！

南モンゴル 検索

参考文献：中国共産党によるモンゴル人ジェノサイド実録
原著アルタンデレヘイ、編訳橋本海
http://ir.lib.shizuoka.ac.jp/handle/10297/2552
原案：南モンゴル応援クルリタイ
作画：BLE

南モンゴルを知っていますか？